

糖質誘導性非アルコール性脂肪肝を予防する 食品成分の探索およびその作用機序の解明

非アルコール性脂肪肝 (NAFL) は、肥満や糖尿病などの生活習慣病と密接に関係しているため、その予防は大変重要です。単糖類であるフルクトースを過剰に摂取させたラットを、糖質誘導性NAFLモデル動物として活用し、これを予防する食品成分の探索およびその作用機序の解明に取り組んでいます。糖質誘導性NAFLを予防する食品成分をいくつか見出す中で、特に、糖アルコールの一種であるミオイノシトールが極めて著しい糖質誘導性NAFL予防効果を発揮することを報告し、現在その作用機序を解明中です。将来的には、糖質誘導性NAFLを予防する食品成分の効果を捉える血液バイオマーカーの探索へと展開していきたいと考えています。

応用生物科学部
応用生命科学課程
食品生命科学コース
准教授 島田 昌也

